



スポーツ研究所公開シンポジウム

オリンピックの周期と重なる。専修大学社会体育研究所から専修大学スポーツ研究所に名称変更して初めての所報となるが、本研究所の活動を振り返ると、4年前に蒔いた種が確実に実ってきているように思われる。例えば、オリンピック&パラリンピック誘致を視野に置いての「スポーツレガシーシリーズスポーツ研究所公開シンポジウム」、国内外のスポーツ研究機関との「合同研修会」そして「中高年およびジュニアアスリートのためのスポーツ実践公開講座」などを地道に実践してきた中、タイミング良く2020年東京オリンピック&パラリンピック開催も決定した。その流

れを受けて、松浪健四郎日体大理事長、体操の田中理恵先生そして本学の長澤和輝選手（経営4年 プンデスリーガー FCケルン所属）を招いてのスポーツレガシーシンポジウムは、超満員の観衆の中で実施することができた。加えてソチオリンピックでは、葛西選手の活躍もあって、本研究所のシンポジウムのキーワードである「レガシー」と共通性のある「レジェンド」という言葉も浸透した。まさに、本研究所の活動は、先見の明があり、苦しい時でも決してぶれずに信念を貫き通してきた結果だと自負している。研究者においてもアスリートにおいても、そし

て其々の人生においても、大切な事は自分の持っている能力を十分に発揮することである。思い通りにいかない時でも決して腐らず、ぶれず、「人生は波であり、照る日もあれば曇る日もある」とそれを自然に受容する心を持つ事が寛容なのだった次第である。

今年もスポーツ研究所の個性的なスタッフ全員が力を合わせて、2013年度の所報を完成することができた。ここに玉稿を賜った方々とスポーツ研究所の活動にご協力頂いている皆様に心から感謝申し上げます。



専修大学スポーツ研究所

佐藤 雅幸	齋藤 実
野呂 進	平田 大輔
吉田 清司	時任真一郎
佐竹 弘靖	渡辺 英次
佐藤 満	富川 理充
飯田 義明	相澤 勝治
久木留 毅	李 宇諤

専修大学スポーツ研究所報 2013

平成 26 年 3 月 31 日
 発行者 佐藤 雅幸
 発行所 専修大学スポーツ研究所
 〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1
 電話・ファクシミリ 044-911-1032
 E-Mail sports@isc.senshu-u.ac.jp

デザイン 山岸淳デザイン(株)